

はじめなく  
おわりなく



榎本恵吾先生（昭和58年ごろ撮影）



## お礼に代えて

榎本 一子

合掌

夫榎本が現世うつしよのつとめを終えて、幽世かくりよに還りましてから二年が経とうとしています。

一周忌に当たりました昨年七月、宇治別格本山総務 楠本加美野先生のご愛念によりお許しをいただき、「偲ぶ会」を開かせて頂くことが出来ました。生前の書や絵画なども展示させて頂き、有り難い集いを持たせて頂きました。

そのことを機縁としまして、その三月に生長の家本部講師・山形教区教化部長の任務を終えられました岡正章先生の発案により、「これからは教化部長時代と違って自由な時間もあるので、インターネットで記念館を起ち上げてはどうだろう。いささかの知識を持っているので……」という風におっしゃって頂き、現在の「榎本恵吾記念館」(ホームページ)が開館しました。

以前、夫榎本に「これからはパソコンが出来ないと不便なことが多いですよ。あなたがやり出したらすぐ習得できると思うからパソコンの勉強やりましょうよ」と、勧めたことは何度となくありましたが、その度に「いやあ、僕はいいよ。僕ほどパソコンのお陰を被っているものもないと感謝はしているけどね」と言つては、さわるうともしませんでした。

その榎本が現世を去ったことがきっかけで、絵画、書、音楽、文章などがインターネットを通じて、今まで榎本を知らないでいた方にまで広く紹介されて、"コンピューターと一番遠かった人に、こんな有り

難しい、ステキなことが……”と私は心の中の榎本と目を合わせて笑っています。こんな有り難いことが出来るなんて榎本本人も、誰も想像すらしていませんでしたから……。

そして、これも岡先生のご発案に、榎本と昵懇じつこんでいてくださった方達が、呼応して協力を申し出て下さり、「編集企画委員会」のようなものを起ち上げて下さり、ホームページ上に「私の中の榎本恵吾先生」という形で追悼文を募集して頂く運びになりました。そして、沢山の方達が想い出の記を書いて送って下さいました。

毎日毎日、本山から帰ってくると手を洗うよりもさきにノートパソコンに電源を入れ、「記念館」を開いて見、皆様の投稿を読ませて頂くのが何よりの楽しみという一年を過ごしました。

私の知らないところでも、榎本はこんなところで、魂の交流を持ち、こんなに皆様によるこぼれ、生長の家の人類光明化運動に役立っていたのか……という深い喜びに浸らせて頂いてきました。ある時は大きな感動で、ある時は共感の喜びで、ある時は限りない懐かしさに涙を流して読ませて頂いていました。そして私は、日一日と元気になり、夫が現世にいない淋しさを完全に超えることが出来ました。これは本当に有り難いことでした。

例えば、昭和三十七年私は榎本と出会い、生涯を共にするという運命を授けられました。娘時代から、“いつまでも変わることのない常住の安心と喜びに裏付けされた生活を送りたい”という願いを持っていた私が、二十五歳にして、魂の求めていた榎本と出会うことになったのです。榎本が生涯をかけて信じ、叫び続けていった、「真相二元」「真相独在」の信仰を、当時からすでに確立して文章にしていた榎本のことを、誰も相手にしてくれなかったときに、私が、“私の求めていた生き方を示してくれる人がここにいた！”という喜びで、心を寄せていったのです。

出会ってから四十三年、「僕の進もうとしている道は、日陰者の道かもしれない。しかし世の中には人

殺しをする人もいるのだもの、僕は許してもらって生長の家の中で僕の信じる生長の家を生き、伝えていきたい。僕はこうしか生きられないんだから……」といったことがありました。いのちを掛けてこの道を行くと決めたときだったようでした。

「神は完全にして、人間は神の子である。そのまま何も付け足す必要のない完全円満な存在である」という自分が救われたそこに立って、一切の形にとらわれず、形の生長の家にもとらわれず、生命があるということは生長の家を生きることとそれを拝み、人を生長の家の中と外という風には分けず、全ての生命に満足していました。そんな信仰の人の周りで、私をはじめ家族はのびのびと解放されて、自由に楽しい、縛りのない生長の家を生きさせてもらっていました。いつもいつも楽しい人で、毎日ことばで、生涯忘れられないというくらいに讃嘆のことばを表現してくれていました。

いつか長女が「一度もお父さんからがっかりさせられたことがなかった。金太郎飴のどを切っても金太郎飴のように、お父さんのどを切っても生長の家だった。」といったことがありましたが、それは、いつも立派ですぎがなく、居ずまいが正されていて、欠点がなく……ということではなく、生長の家という形がなく、ただただ全てを拝み、先ず自分を許し、完全円満な人間を観て、それを愛あでてよろこんでいたということだったと思うのです。

生活、生き方すべて美しい人でした。生活の中で、ずるいことちよつとも一寸考えたり、ものを欲しがったり、惜しがったり、自分の都合を先に立てたり、ひやっとするような冷たい面を見せられたりということなど、教えは教えとして、実際の生活となるとそうばかりもいつていられないという風な、信仰と生活を分けているという風な面など、一番身近な家族が一度も見ることがありませんでした。「生活となるとやっぱり普通じゃないの」という感じを持たせられたことがありませんでした。

今回追悼文集を出版して頂くにあたり、皆様の寄稿されたものを全部通して今拝読していますと、在り

し日の榎本の姿が、皆様の筆により生き生きと甦ってきます。

投稿下さった方々、本当に有り難うございました。

そして、この大変な作業を、なんの見返りも求められず、沢山の尊いお時間と労力、金銭的にも持ち出すことばかりでいらつしやいましたでしょうのに、真心込めて編集に当たって下さいました、榎本が兄と慕い、尊敬していました岡正章先生、そのほかご多用な中、何度も会合を持って下さり、ご意見を頂きました、制作に携わって下さいました沢山の方々に、深い深い感謝を捧げます。

本当に有り難うございました。

平成十九年六月五日

はじめなく  
おわりなく

目  
次

《前編》

1	鮮やかに蘇る 榎本恵吾先生の思い出	大阪市城東区	村上 拓夫	15
2	鼻血を出しながら一喝され…練成会にて	東京都杉並区	増田 義彦	26
3	「救いの原点」をお話しくださった先生	京都府城陽市	山岡 紀子	28
4	あたたかい榎本先生のお導き	京都府宇治市	畑本 宏実	30
5	夢の中の榎本恵吾先生	東京都青梅市	久都間 繁	38
6	〴〵脳内清掃〴〵をしていただきました	宮城県仙台市	川島 郁子	40
7	雲の上で寝ているようでした	石川県金沢市	小塚 弘子	41
8	風となり雲となりて	東京都青梅市	久都間 育代	44
9	わが内なる「先生」	東京都三鷹市	大谷 敦子	48
10	祝福みつる伝道練成	東京都三鷹市	大谷 敦子	58
11	奥さまへの書簡（榎本先生への祈りを込めて）	岐阜県多治見市	長山 弘	60
12	「そのままでよい！」で救われました	神奈川県鎌倉市	堀 浩二	66
13	尊い御言葉を宝物として	京都府宇治田原町	山岡 富佐栄	69
14	榎本恵吾先生へ	京都市西京区	本多 清子	72

15	奇しきご縁に感謝	静岡県浜松市	江川 邦彦	74
16	私の中の光そのものの先生	滋賀県大津市	田中 康蔵	76
17	“太陽マーク”との出会い	北海道旭川市	山川 貞子	77
18	伝道練成の思い出	東京都渋谷区	北島 直樹	78
19	神の子“歓びの通信教育”	東京都渋谷区	北島 京子	86
20	「本流の真理」に導いて下さった先生	兵庫県西宮市	友江 允有己	99
21	「そのままで尊い」の自覚を新たに	東京都小平市	早川 純子	102
22	「輝ける万年青年」の榎本恵吾先生	兵庫県宝塚市	栗山 華江	103
23	先生、今日も力をかして下さい！	大阪府旭区	真田 積	106
24	人生、丸ごと輝けるかどうか！	京都府長岡京市	松本 久	109
25	『光のある内に』三冊ポロポロに・・・	東京都葛飾区	二葉 美代	113
26	榎本先生、天国から応援してください！	徳島県小松島市	村崎 孝江	116
27	困難も喜びに変えて	兵庫県洲本市	榎本 文昭	119
28	永遠に、御魂と共に	東京都杉並区	岡 正章	120
29	「月光」にわが友を偲ぶ	和歌山県新宮市	山中 照也	126
30	お別れの辞	京都市北区	内海 靖浩	128

《後編》

31	光に包まれて	……………	奈良県五條市	山下 登代	133
32	榎本先生を偲んで	……………	東京都新宿区	山野井 潤	136
33	慈愛に満ちあふれた榎本恵吾先生	……………	奈良県天理市	竹本 意野	140
34	『弟子像』と私	……………	石川県金沢市	小塚 弘子	142
35	先生と私	……………	京都市下京区	咲本 はる子	144
36	思い出の尽きない榎本恵吾先生	……………	奈良県大淀町	西本 惇子	148
37	『誕生』そのままに	……………	東京都青梅市	久都間 育代	152
38	『誕生』の曲の響きと共に	……………	大阪府枚方市	福場 江三子	155
39	榎本恵吾先生への尽きない思いと感謝	……………	大阪府枚方市	福場 江三子	157
40	出せなかつた感想文	……………	琉 球	北 淳	163
41	谷口雅春先生の音を劣化させず	……………	京都府城陽市	山岡 万里子	172
42	CDをお送りします	……………	京都府城陽市	山岡 万里子	175
43	榎本先生のこと——無礙の光となって	……………	東京都青梅市	久都間 繁	178
44	師を偲び 心のままに	……………	兵庫県西宮市	阪口 四郎	200
45	先生ありがとうございます	……………	兵庫県西宮市	阪口 幹也	202

46	楠本先生の弔辞	大阪府摂津市	佐谷昇三	203
47	鳥飼う人	大阪府摂津市	平塚久子	205
48	ワンルーム	大阪府摂津市	佐谷昇三	209
49	最後の最後まで生長の家の素晴らしさを	兵庫県神戸市	川上修	216
50	先生を思い出せば、やさしい自分が	三重県名張市	林早苗	219
51	榎本先生	東京都府中市	雪島由美	222
52	ただただ認めて肯定してくださいました先生	富山県富山市	中土明美子	224
53	宗教家としての天才を観た思い出	山梨県	服部至	227
54	僕にとって大事な、大事な、大事な先生	東京都中野区	望月隆史	228
55	一 <small>はじめ</small> のひびき	兵庫県宍粟市	江見次夫	232
56	多くの愛と、生きる喜びを頂きました	京都市右京区	加畑尚代	234
57	〴〵光 だったのですね	千葉県松戸市	服部洋子	236
58	先生に教えていただいたこと	東京都世田谷区	石田宗之	237
59	永遠の榎本恵吾先生	京都府宇治市	大熊良樹	244
60	観音様の慈愛にみちたお顔そのまま	奈良県上牧町	福山美津子	250
61	榎本先生から受けたもの	京都市下京区	咲本徹	252

62	至心	………	京都府宇治田原町	鵜飼 恭子	255
63	「久遠の今」の光のお言葉に感動	………	広島県 呉市	川崎 善憲	258
64	永遠の灯 榎本恵吾先生	………	兵庫県神戸市	三谷 江美	260
65	忘れられない先生のお声	………	京都市中京区	森末 祐二	263
66	最高の祝福讃嘆をして下さった先生	………	岐阜県本巢市	佐藤 実恵子	266
67	榎本先生へ	………	京都府宇治市	田中 裕子	268
68	榎本先生の光に包まれて	………	京都府宇治市	高橋 厚子	270
69	言葉に表し尽くせない幸せ	………	岐阜県土岐市	大萱 うい子	273
70	——永遠 <small>とわ</small> の感謝をこめて——	………	横浜市瀬谷区	畑元 佑季子	276
71	「生長の家二世」の私にとつての榎本先生	………	群馬県	荒居 由紀子	278
72	榎本研修と『生命の真相』	………	東京都青梅市	久都間 繁	280
73	榎本恵吾先生、霊界からお導き下さい	………	長崎県西海市	山内 彰	282
74	もつともつとお話をお聞きしたかった……	………	宮崎県延岡市	横山 純子	284
75	親愛なる榎本先生へ	………	石川県七尾市	佐田味 朝子	286
76	「そのまま今喜べる命」をお教え下さった先生	………	横浜市青葉区	斉藤 章枝	288
77	榎本恵吾先生を慕い	………	埼玉県鳩ヶ谷市	石塚 丈士	290

《ご親族編》

78	私の叔父さん	兵庫県宝塚市	尾崎輝美	295
79	『無神』そのものなる榎本恵吾先生	京都府宇治市	喜多源典	297
80	父からの贈り物	京都府宇治市	喜多妙子	305
81	声	京都府宇治市	小林信恵	307
82	手廻しオルゴール	京都府宇治市	小林努	310
83	おじいちゃんとの想い出	小学五年	小林奏子	312
84	おじいちゃんといいた時	小学五年	高塚基	314
85	おじいちゃんに思うこと	小学三年	高塚周	315
86	ぼくの名前と思い出	小学五年	渡邊創	316
87	大好きなおじいちゃん	中学一年	渡邊清子	318
88	久遠の実在	静岡県静岡市	高塚久実	321
89	父のこと、夫のこと	兵庫県神戸市	渡邊実代	326
90	在りし日の面影	京都府宇治市	榎本一子	329

